

建築工事施工計画報告書

建築基準法第12条第5項

葛飾区建築基準法施行細則第11条の4の規定に基づき、下記のとおり建築工事施工計画を報告します。
この報告書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

年 月 日

葛飾区長あて

代表となる工事監理者 住所 電話 ()
会社名 ()級建築士事務所()登録第()号
氏名 ()級建築士()登録第()号

工事施工者 住所 電話 ()
会社名 建設業の許可 大臣・知事 第()号
氏名

(法人にあつては、その事務所の所在地、名称及び代表者の氏名)
品質窓口責任者氏名 電話 ()

記

品質管理方法がB方式ではない場合
氏名・電話番号とも未記入

(1) 工事現場	名称			工区棟	工事の種類	新築・増築・改築
	所在地	葛飾区 地名地番で記入				
(2) 構造設計者	氏名		所属会社		電話	()
(3) 現場代理人(所長)	氏名		現場事務所		電話	()
(4) 階数	地上 階・地下 階 塔屋 階	(5) 建築面積	m ²	(6) 延べ面積	m ²	
(7) 構造	木造・S造・RC造・WRC造・SRC造・混構造(造+ 造)・その他()					
(8) 高さ	軒高 m 最高 m	(9) 確認	施工計画報告の対象となる建築物について 確認申請書に記載されている床面積合計を記入 建築面積(第3面)、延べ面積(第4面)			
(10) 確認・計画通知、年月日及び番号	年 月 日 第 号					
(11) 計画変更年月日及び番号	年 月 日 第 号					
(12) 構造計算の方法	(X) ルート()、(Y) ルート()、その他()					
(13) 構造(階ごと)	RC造・WRC造	階から 階まで	(14) 使用部	PCa・HPCa		
	SRC造	階から 階まで		PC		
	S造	階から 階まで		CFT		
(15) 認定材料	コンクリート	※ 受付欄				
	鋼材等	法第37条第1項第2号の大臣認定を受けた 材料を使用する場合、 材料名と認定番号を記入してください				
	免震・制振部材					
	その他					

該当する構造を○で囲ってください

(注意) 1 ※印のある欄は、記入しないでください。
2 代表となる工事監理者及び工事施工者は、本報告書の記載内容と確認済証及び設計図書等が整合しているか十分確認して記入してください。

鉄筋工事及びコンクリート施工計画報告書												
コンクリート使用材料及び施工												
基礎の種類		<input type="checkbox"/> 直接基礎 { <input type="checkbox"/> ベタ基礎 <input type="checkbox"/> 布基礎 <input type="checkbox"/> 独立基礎 } <input type="checkbox"/> くい基礎 { <input type="checkbox"/> 場所打ち鉄筋コンクリート杭 <input type="checkbox"/> 既製杭 (PHC杭、SC杭、鋼管杭、その他 ()) }										
コン ク リ ー ト 確 認 項 目	施 工	使用工法			基準	<input type="checkbox"/> JASS5(年版) <input type="checkbox"/> その他()						
		使用部位	杭	基礎	階～階	階～階	階～階	階～階	階～階	階～階		
		設計基準強度										
		打設方法			在来、PCa、CFT等の 採用する工法を記入してください							
		使用工法					軽量()種	モルタル	グラウト			
		使用部位	階～階	階～階	階～階	階～階	階～階					
		設計基準強度										
		打設方法										
	試 験 ・ 検 査 計 画	品質管理責任者 氏名					工事監理者 又は係員氏名		常 駐 非 常 駐			
		検査担当者(工事施工者) 氏名										
検査項目		打込前	<input type="checkbox"/> 試練 <input type="checkbox"/> 散水 <input type="checkbox"/> 配筋 <input type="checkbox"/> かぶり厚さ						常・非			
		打込中	<input type="checkbox"/> テストピース採取 <input type="checkbox"/> 打込速度・順序 <input type="checkbox"/> 締固め						常・非			
		打込後	<input type="checkbox"/> 養生方法 <input type="checkbox"/> 養生温度 <input type="checkbox"/> 打込欠陥						常・非			
エア・スランブ試験等の代行業者名			代行業者名		登録番号 採高強-〇〇-(××)-△△号							
供試体の養生場所・管理者			養生場所及び管理者名を記入									
構造体コンクリート試験機関名			Fc36N/mm ² 以下の場合 Fc36N/mm ² 超の場合		試験機関名 試験機関名		都登録第 試A〇〇-(×)-△号 都登録第 試B〇〇-(×)-△号					
鉄筋使用材料及び施工												
使 用 鉄 筋	種 別	SD295		SD345		SD390		Fc36N/mm ² 超が非該当の 場合、下段は未記入				
	使用径	D	～D	D	～D	D	～D	D				
鉄 筋 確 認 項 目	施 工	継 手 種 類		圧接継手		機械式継手		溶接継手		重ね継手(その他)		
		使 用 箇 所										
		継手工法名(溶接材料)										
		継手施工会社(優良圧接業者)										
				A 級	その他	SA, A級	その他	A 級	その他			
		技 量 確 認 ・ 施 工 前 試 験 冷間直角カッターの使用		有・無を記入								
	試 験 ・ 検 査 計 画	外 観 検 査(%)										
		引張試験 (箇所/ロット)										
		超音波探傷・測定検査 (箇所/ロット又は%)										
		引張試験併用										
引 張 試 験 機 関 名								都登録 第試A〇〇-(×)-△号				
非 破 壊 検 査 機 関 名								都登録 第筋-〇〇-(〇)-〇〇号 資格 A種-〇〇〇〇〇〇				
外 観 検 査 実 施 者		工事監理者・工事施工者/検査機関 検査者						都登録 第筋-〇〇-(〇)-〇〇号 資格 A種-〇〇〇〇〇〇				
鉄筋コンクリート工事 重 点 管 理 項 目												

[illegible]

[illegible]

(日本産業規格A列4番)

溶 接 工 事									
工場溶接（完全溶込み溶接部）					工事現場溶接（完全溶込み溶接部）				
<input type="checkbox"/> 被覆アーク溶接 <input type="checkbox"/> ガスシールドアーク溶接 <input type="checkbox"/> サブマージアーク溶接 <input type="checkbox"/> その他()					<input type="checkbox"/> 被覆アーク溶接 <input type="checkbox"/> ガスシールドアーク溶接 <input type="checkbox"/> サブマージアーク溶接 <input type="checkbox"/> その他()				
鋼材の切断の方法									
開 先 の 形 状		別添図 のとおり			開先の仕上方法				
エンドタブの種類と 主な使用部位		<input type="checkbox"/> 鋼製タブ							
		<input type="checkbox"/> フラックスタブ（セラミックス フラックス）							
種 類	使用部位	鋼 種	最大板厚	種別	溶接材料等	作業姿勢			
工 場 溶 接	完全溶込み			mm		F V H O			
						F V H O			
						F V H O			
						F V H O			
	すみ肉					F V H O			
						F V H O			
溶 接 管 理 技 術 者		所属		氏名		資格			
溶 接 検 査 責 任 者		所属		氏名		資格			
受入検査	検 査 機 関 名				都登録 検 第〇〇-(〇)-〇 号 CIW 番号				
	検 査 員	氏名 資格							
	検 査 率	<input type="checkbox"/> 外観検査 % <input type="checkbox"/> 超音波探傷検査 % <input type="checkbox"/> 内質検査 %							
	検 査 内 容	検査機関が行う検査内容を、溶接前・中・後の項目に分けて記入してください							
種 類	使用部位	鋼 種	最大板厚	種別	溶接材料等	作業姿勢			
工 事 現 場 溶 接	完全溶込み			mm		F V H O			
						F V H O			
						F V H O			
						F V H O			
	すみ肉					F V H O			
						F V H O			
溶 接 管 理 技 術 者		所属		氏名		資格			
受入検査	検 査 機 関 名				都登録 検 第〇〇-(〇)-〇 号 CIW 番号				
	検 査 員	氏名 資格							
	検 査 率	<input type="checkbox"/> 外観検査 % <input type="checkbox"/> 超音波探傷検査 % <input type="checkbox"/> 内質検査 %							
	検 査 内 容	検査機関が行う検査内容を、溶接前・中・後の項目に分けて記入してください							
重点管理内容									

高力ボルト接合工事

高力ボルト接合工事施工者名称：

施工管理責任者	所属	氏名	資格
高力ボルトのタイプ	<input type="checkbox"/> トルシア形高力ボルト	<input type="checkbox"/> 高力六角ボルト	<input type="checkbox"/> 溶融亜鉛めっき高力ボルト <input type="checkbox"/> その他()
高力ボルト認定番号		JIS B 1186	
接合方法	<input type="checkbox"/> 摩擦接合 <input type="checkbox"/> 引張接合	<input type="checkbox"/> 摩擦接合 <input type="checkbox"/> 引張接合	<input type="checkbox"/> 摩擦接合 <input type="checkbox"/> 引張接合
摩擦係数	0.45()	0.45()	0.40()
摩擦面の表面処理	母材() スプライスPL() フィラーPL()	母材() スプライスPL() フィラーPL()	母材() スプライスPL() フィラーPL()
ボルトの締付方法	<input type="checkbox"/> トルクコントロール法	<input type="checkbox"/> トルクコントロール法 <input type="checkbox"/> ナット回転法	<input type="checkbox"/> ナット回転法
締付機器	一次締： 二次締：	一次締： 二次締：	一次締： 二次締：
すべり係数試験 (リン酸塩処理摩擦面)	<input type="checkbox"/> 有 1 試験体： <input type="checkbox"/> 標準試験片 <input type="checkbox"/> 工事現場継手に準ずる <input type="checkbox"/> 工事現場継手と同一 2 摩擦面： <input type="checkbox"/> 自然放置() <input type="checkbox"/> 化学処理() <input type="checkbox"/> ショットブラスト <input type="checkbox"/> 省略：照合用標本との比較による目視確認		
軸力導入試験 (トルシア型高力ボルト)	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 省略：()		
重点管理内容			

試験・検査の計画

試 験 ・ 検 査 等 の 項 目		鉄骨加工業者	工事施工者	検査機関	工事監理者	試 験 ・ 検 査 等 の 項 目		鉄骨加工業者	工事施工者	検査機関	工事監理者
工場製作	1 鉄骨加工工場の決定					工事現場施工	1 工事現場施工計画書				
	2 製作要領書						2 建方検査				
	3 工作図						3 高力ボルトの検査				
	4 使用材料(鋼材・ボルト等)						3-1 摩擦接合面検査				
	5 現寸検査						3-2 軸力導入試験				
	6 組立検査(開先形状等)						3-3 締付け後検査				
	7 寸法精度検査						4 溶接部の検査				
	8 溶接部の検査						4-1 外観検査				
	8-1 外観検査						4-2 超音波探傷検査				
	8-2 超音波探傷検査						4-3 内質検査 ※				
	8-3 内質検査 ※						5 その他()				
	9 その他()										

自主検査(○) = 鉄骨加工工場が、社内検査を実施する項目について○印をつける。

承認(○) = 工事施工者・工事監理者が鉄骨加工工場の自主的な検査に任せ、事後報告を一括して行えば良いとした項目に○印をつける。

立会い(□) = 工事施工者・工事監理者が鉄骨加工工場の自主的な検査に任せ、事後報告を一括して行えば良いとした上で、確認のために一部サンプルの立会い検査を行う項目に□印をつける。

受入れ検査(△) = 工事施工者・工事監理者が、自ら又は第三者機関に代行させて検査を実施する項目に△印をつける。

※ 高さが45mを超える建築物で溶接する鋼材の板厚が25mm以上の部分又は高さが45m以下の建築物で溶接する鋼材の板厚が40mmを超える部分において、鉄骨造等の工事に関する東京都取扱要綱により内質検査を必要とする場合は、受入れ検査として実施すること。